

太子口としての 喜志



き し えき たいしぐちきし えきめい
喜志駅はむかし「太子口喜志」という駅名でした。

たいしぐち
太子口とは どういうことでしょうか？

き し えき ひがし い たいしちょう えいふくじ
喜志駅から 東 へずっと行ったところ（太子町）に「叡福寺」という
お寺があります。ここは しょうとくたいし はか むかし
お寺があります。ここは 聖徳太子のお墓があるので、昔 からたくさ
んの人が ひと たいし
おとずれました。「お太子さん（おたいっさん）」といっ
て 多くの人に おお ひと した
親しまれてきました。

でんしゃ かいつう えき たいし えいふくじ い
電車が開通したとき、「この駅からお太子さん（叡福寺）へ行けます
よ」という意味で、この駅名になったのです。

いま き し えきまえ せきひ
今でも喜志駅前に、そのことをしるす石碑がたっています。

ふるい^{うた}歌に、こんな^{かし}歌詞があります。

きくもうれしき 喜志の^{えき}駅

しょうとくたいし みはか
聖徳太子の御墓なる

しなが むら えいふくじ
磯長の村や 叡福寺

うめばちごりょう ちか
梅鉢五陵も ほど近し

※磯長 = 今の太子町の村の名

※梅鉢五陵 = 太子町にある5つの御陵が 梅の花弁のように点在していることから、このように言われる。



↑ かつて^{とんだばやし}富田林をはしっていた^{きしゃ}汽車

ところで、^{きし}喜志の^{みや}宮さんから^{あわ いけ ほう}粟が池の方へ^{さんどう ある}参道を歩くと、^{きんてつでんしゃ}近鉄電車の

^{らみきり}踏切がありますが、そこに^{むかし}昔、^{えき}駅があつたのを知っていますか？

^{えきめい}駅名は「^{みやまえ}宮前」といったり「^{あさひ おか}旭が丘」といったりしたそうです。